

2023

10.4 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_ffIXospjRUGO2HIRO8QxHg

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

我々は、どのようにして野生動物と共存すべきか？
— 人間社会から考える野生動物問題 —

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)



Key Words

野生動物 狩猟

獣害問題

絶滅

移入種

共存

安田 章人 准教授

九州大学 基幹教育院 人文社会科学部門

私は、1982年に兵庫県にて生まれました。東京農工大学を経て、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了しました。その後、法政大学や立教大学の非常勤を経験し、2013年から九州大学・基幹教育院にて教育研究をおこなっています。

研究テーマは、「狩猟をキーワードに、『人と野生動物の共存』を社会科学側面からフィールドでの調査をもとに考える」というもので、環境社会学と地域研究を専門にしていますが、狩猟や野生動物保全に関する様々な分野（人類学や民俗学、心理学、生態学など）に関心を持っています。主な調査地は、アフリカのカメルーン共和国やアメリカ合衆国ハワイ州で、国内では北海道や福岡などでフィールドワークをおこなっています。主な著作は、単著『護るために殺す？アフリカにおけるスポーツハンティングの『持続可能性』と地域社会』勁草書房、2013年。分担執筆『アフリカ潜在力5 自然は誰のものか：住民参加型保全の逆説を乗り越える』（山越言・目黒紀夫・佐藤哲編）京都大学学術出版会、2016。『野生動物管理のための狩猟学』（梶光一・伊吾田宏正・鈴木正嗣編），朝倉書店、2013。です。

昨今、野生動物と人間の問題、いわゆる、野生動物問題が深刻化しています。それは、農作物被害などを引き起こしている「増えすぎた」とされる野生動物の問題から、反対に、減少や絶滅の問題、そして外来種や移入種の問題まで、多岐にわたります。

こうした問題を解決するために、自然科学、いわゆる理系からは、増えてしまったり、持ち込んでしまった野生動物を捕獲して数を減らすことや、減ってしまった野生動物の個体数を回復させるなどの試みがされています。しかし、それだけではなく、なぜこのような問題がおこったのか？、どうして深刻化しているのか？、誰と、どのような解決策を目指せばいいのか？といった、社会科学、いわゆる文系からのアプローチも求められています。

本セミナーでは、私が現地調査をおこなってきた国内外の事例を紹介し、人間社会から野生動物問題をどのように向き合えばいいのか、みなさんと考えたいと思います。